

## 株主メモ

### 【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

### 【定時株主総会】

毎年1月

### 【基準日】

毎年10月31日

### 【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

※当社の株主名簿管理人であります「住友信託銀行株式会社」の合併及び商号変更に伴い、平成24年4月1日より商号・住所及び事務取扱場所が変更となりました。

### 【郵便物の送付先または連絡先】

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031

### ※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

### ※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株式に関するお手続きのホームページURL】

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

### 【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

## IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

## 株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成26年)の1月31日までご利用になれます。

### 【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。



100株以上 …… 2枚  
500株以上 …… 4枚  
1,000株以上 …… 6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

## 単元未満株式の買取及び買増制度

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手続きの詳細は、上記の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせ下さい。(証券会社に株式を記録されている場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

### 【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営いたしますハウステンボス(長崎県佐世保市)のご入場割引券を、お送りいたします。



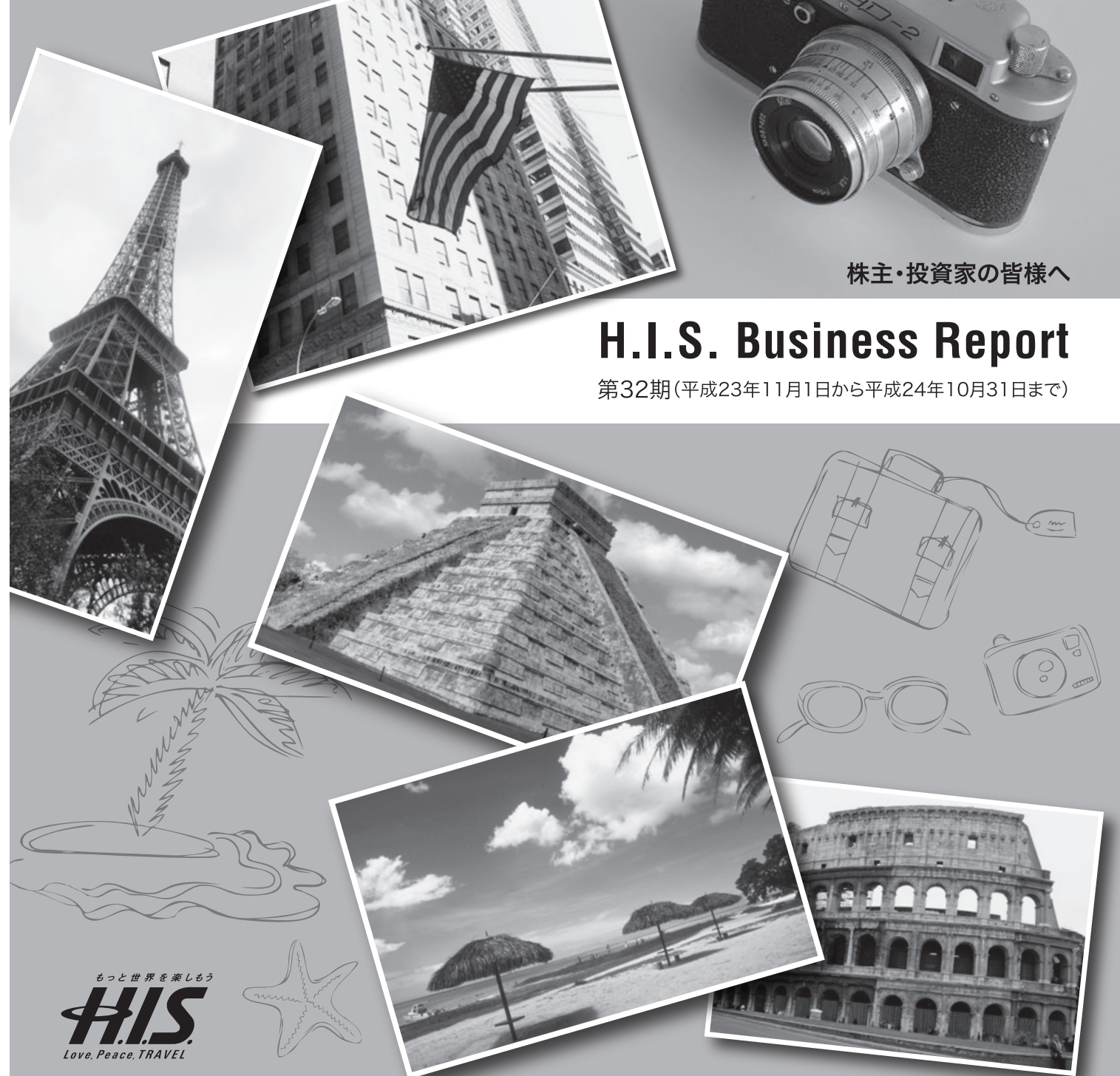
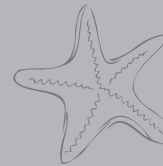
100株以上 …… 1枚  
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

**HIS** 株式会社 エイチ・アイ・エス  
Love, Peace, TRAVEL

もっと世界を楽しもう

**H.I.S.**  
Love, Peace, TRAVEL



株主・投資家の皆様へ

# H.I.S. Business Report

第32期(平成23年11月1日から平成24年10月31日まで)

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report(平成23年11月1日から平成24年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、世界景気の減速等を背景として、全体として弱めの動きで推移しました。旅行業界における海外旅行需要につきましては、歴史的な円高傾向の継続やシニア世代における旅行機運の高まりにより、増加傾向で推移しました。日本政府観光局(JNTO)による平成23年11月から平成24年10月にかけての日本人出国者数(推計値)は、前年同期比約10.9%増(約183.1万人増)の約1,857万3千人と過去最高の出国者数となる見込みになっております。

このような経営環境の中で、当社グループでは、主力のセグメントであります旅行事業において、サービスと品質の向上に努めつつ、旅行需要の高まりを着実に確保する事ができるよう、各種施策を展開しました。主な取り組みにつきましては、本書5ページ以降にTopicsとして記載させていただいているとおりでございます。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は4,314億83百万円(前年同期比113.3%)、連結営業利益は113億16百万円(同120.3%)、連結経常利益は134億79百万円(同122.5%)、連結当期純利益は93億31百万円(同112.4%)となりました。

今後の取り組みの詳細につきましては、本書3ページ以降のインタビューでお答えし、当社グループの状況を少しでも分かりやすくお伝えできるように心がけました。

当社グループは企業理念のもとに、お客様満足度のさらなる向上に取り組み、世界各国、各地域で支持されるグローバルな旅行会社へと躍進出来るよう力を尽くしてまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますと共に、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成25年1月

代表取締役社長 平林 朗



## 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成24年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>111,697</b>	<b>流動負債</b>	<b>76,206</b>
現金及び預金	65,495	営業未払金	17,162
売掛金	12,505	旅行前受金	39,537
営業未収入金	5,135	その他	19,506
旅行前払金	17,626	<b>固定負債</b>	<b>20,528</b>
その他	10,934	<b>負債合計</b>	<b>96,734</b>
<b>固定資産</b>	<b>61,783</b>	純資産の部	
有形固定資産	40,554	<b>株主資本</b>	<b>68,107</b>
無形固定資産	4,532	資本金	6,882
投資その他の資産	16,696	資本剰余金	7,782
<b>繰延資産</b>	<b>16</b>	利益剰余金	55,966
<b>資産合計</b>	<b>173,497</b>	自己株式	△2,524
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△389</b>
		<b>少数株主持分</b>	<b>9,044</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>76,763</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>173,497</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成23年11月1日から平成24年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△305
現金及び現金同等物の減少額	△9,275
現金及び現金同等物の期首残高	44,703
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	392
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>35,821</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成23年11月1日から平成24年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	431,483
売上原価	354,512
売上総利益	76,971
販売費及び一般管理費	65,654
営業利益	11,316
営業外収益	2,401
営業外費用	238
経常利益	13,479
特別利益	603
特別損失	18
税金等調整前当期純利益	14,064
法人税等	3,182
少数株主損益調整前当期純利益	10,881
少数株主利益	1,549
当期純利益	9,331

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# トップインタビュー

当期の取り組みと今後の事業展開



代表取締役社長  
平林 朗

**Q** 前期(平成24年10月期)の業績についてお聞かせ下さい。

**A.** 積極的な営業展開で国内外の多くのお客様にご利用いただくことが出来ました。

旅行業界全体は、歴史的な円高傾向の継続やシニア世代における旅行機運の高まりにより、増加傾向で推移しました。私どもも各世代のお客様ニーズに沿うような旅行商品の品揃えやサービス面の強化を行い、積極的な営業活動を展開しました。お陰様で300万人を超えるお客様の海外旅行をお世話させていただくことが出来ました。また、海外における現地の方を対象とした旅行事業や日本の国内旅行事業、ハウステンボスなど、各事業ともに順調に拡大することが出来ました。

**Q** 当期(平成25年10月期)の主な施策、取り組みについてお聞かせ下さい。

**A.** 当期もお客様にご支持いただき、成長し続けていけるよう様々な挑戦を行ってまいります。

世界経済を取り巻く環境は引き続き不透明になると思われませんが、旅行業界においては、国内におけるLCC(ローコストキャリア)の浸透や海外からの新規就航、歴史的な円高傾向の継続やシニア世代における旅行機運の高まりなどを背景に旅行需要は増加基調で推移すると予想されます。一方で、顧客接点の多様化や直販化が進む航空会社も含めた国内外における業界内競争の激化など市場の変化を見据えた対応がより必要となると思われま

す。このような環境の中、当社グループとしましては主力のセグメントであります旅行事業において、安全と安心、サービスと品質の向上に努めつつ、当社グループにおけるシナジー効果の発揮を見据え、クルーズ旅行への挑戦やチャーター便の積極活用など、顧客ニーズに敏感に対応し、世界市場において独自性ある商品とサービスを創出し、日本発、海外発の旅行事業を拡大、発展させていくための各種施策にスピーディーに取り組みます。また、各販売チャネルの特性を意識した営業展開や媒体特性を活かした需要喚起のためのプロモーションなど、生産性や効率性をさらに意識した展開も進め、業績のさらなる向上を図ってまいります。

ハウステンボス株式会社では、今後もエンターテイメントやイベントに創意工夫を凝らし、様々な

新しい取り組みを進めてまいります。「東洋一から世界一へ。"1,000万球のイルミネーション"光の王国」の開催(平成24年11月23日~平成25年3月10日)や360度パノラマドームシアターの「アイフォー」のオープン(平成24年11月23日)、世界最大級の5階建て巨大迷路「The Maze」(平成25年3月1日オープン予定)の誕生など、新たな展開を進めてまいります。

また、平成24年12月4日に設立を発表しました国際チャーター航空会社は平成25年の夏に初便就航の計画、準備を進めております。

**Q** 今後の中長期的な事業展開をお聞かせ下さい。

**A.** 世界的な旅行会社を目指し、日本にとどまらず世界各国で旅行事業の強化を図ってまいります。

私どもは、世界的な旅行会社を目指します。海外ネットワークをさらに充実させて、日本のお客様だけでなく、海外各国のお客様に向け、喜んでいただける商品や高品質なサービスの提供に力を入れていきたいと考えております。そして、こういったグローバルな事業展開を担えるような人材の採用、育成にも努めてまいりたいと考えております。

**Q** 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお聞かせ下さい。

**A.** 企業としてさらに成長を続け、皆様に支えられる旅行会社でありたいと思います。

当社の企業理念は「ツーリズムを通じて、世界の人々の見識を高め、国籍、人種、文化、宗教などを超え、世界平和・相互理解の促進に貢献する。」です。お客様にご支持いただき、成長し続けていけるよう誠実に事業活動を進め、効率的でスピード感のある経営を行ってまいります。また、さらなる収益性の向上にも取り組み、真にグローバルな旅行会社となっていきたいと考えております。株主や投資家の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。



## インターネットを活用した旅行販売の取り組み

航空券販売の強化を目的として、平成23年11月に海外航空券オンライン予約サイトの刷新を行い、平成24年5月には「海外航空券+ホテル」予約サイトも構築するなど、新たなサービスの提供を開始しました。また、商品検索や予約画面をよりお客様に分かりやすくし、手順の簡略化などの改善も行いました。さらには、利便性をより高めるため、スマートフォン向けアプリの拡充（「H.I.S.海外航空券予約」など）やSNSによるサービスの拡充（フェイスブック、LINEなど）も図り、インターネットを利用した販売は好調に推移しました。



▲ 海外航空券アプリ  
<http://www.his-j.com/tyo/app/air/airapp.html?lcid=tz05>

iPhone®アプリ▶



## 販売チャネル

東日本では生産効率を重視した店舗網の再配置や小型店舗の展開を実施し、西日本では梅田本店に専門店を新規オープンするなど販売体制を拡充しました。また、ウェディング・ハネムーンのカウンターを全国100店舗で展開するなど、海外挙式関連の販売体制の一層の強化も図りました。



▲ 丸の内クイックカウンター



◀ ウェディングポスター

## 団体旅行・法人旅行の強化

団体旅行では、大型団体旅行（企業様向け、各種イベント、修学旅行など）の受注が拡大し、初の公式旅行代理店を務めたロンドンオリンピックの観戦ツアー販売も大成功を収め、好調に推移しました。法人旅行（企業出張）への取り組みでは、企業様向け自動予約システム（SFIDA-online）と海外航空券検索システム「FARE BROKER」を連動させ、利便性の向上に努めた他、法人契約のグローバル展開を目指して営業人員を世界中に派遣するなど、積極的な展開でご利用企業様を着実に増やすことが出来ました。



▲ 団体旅行説明会風景



▶ ロンドンオリンピック観戦ツアー専用パンフレット



▲ チャーター便



◀ 3世代旅行ポスター



H.I.S. & ANAパートナーシップロゴ▲

## 新たな旅行商品やサービス

日本各地区からのチャーター便（バンコク行きやハワイ行きなど）の販売強化を行い、多くのお客様にご利用いただくことができました。強化を図っております添乗員同行ツアー「impresso（インプレッソ）」では、ルーブル美術館貸し切りプランなど、オリジナリティ溢れる商品展開を行い、多くのお客様にご支持いただきました。また、3世代旅行への取り組みとしまして、タレントの平泉成さんを起用したCM展開を行うなど、新たなお客様層への訴求を強化しました。本格的な参入を図りました日本国内旅行事業では、新たに就航したLCC（格安航空会社）を利用したツアーや全日空との業務提携による関連商品を全店舗において販売を開始しました。また、平成24年3月には新たに国内宿泊予約サイト「スマ宿」のサービスも開始し、好調に推移しました。

## 海外における旅行事業の拡大

海外拠点が仕入・造成する海外ホテルの客室やオプションツアーなどの商品を、インターネット経由で日本や海外の旅行者へダイレクトに販売を行う「H.I.S.VACATION事業」や、アジア圏を中心に日本人以外のお客様に海外現地発の旅行商品を販売する「海外アウトバウンド事業」の一層の強化を図りました。また、現地のお客様へ向けたオンライン予約サイト(スマートブッキング)をタイに引き続き、シンガポールでもオープンしました。今後も現地に根付いたサイトの構築を世界各国で推し進めてまいります。さらには、他の旅行会社へのホールセールである「BtoB事業」も積極的な営業活動を実施し、順調な伸びを示しております。拠点につきましては、ケニアのナイロビや韓国の釜山(アウトバウンド業務)、グアムのラウンジ拡張など、引き続き積極的に拡充を行いました。



▲ スマートブッキング  
<http://his-booking.com/>



▲ グアムラウンジ



▲ タイ・バンコクのサテライト店舗2号店  
ゲートウェイエカマイ支店



◀ タイ・バンコクのスカイトレインへの  
ラッピング広告



▲ 20周年ロゴ



▲ アドベンチャーパーク



世界花火師競技会▶

## ハウステンボス

開業20周年にあたるハウステンボス株式会社では、テーマパークの質的向上と集客力強化とともに経費削減への取り組みを実施しました。集客力強化を企図したイベントとして「ガーデニングワールドカップ」や「光の王国」、「100万本のバラ」など、それぞれ好評を博した企画をさらにバージョンアップさせて実施しました。また、「世界花火師競技会」など安定的に高い水準で人気を博しているイベントも集客力の向上に寄与しました。新施設についても、平成23年11月「白い観覧車」を誘致した他、平成24年3月には「アドベンチャーパーク」、同5月には「デジタルホラーハウス」、同7月には「ONE PIECE ライドクルーズ ～FOR THE NEW WORLD～ in ハウステンボス」を導入し、さらなる場内滞在価値の向上を図りました。ハウステンボス美術館では、開館20周年企画として7月より「幻のゴッホ展」を開催し、好評を頂くことが出来ました。

## ホテル事業

オーストラリアの2ホテルと日本の札幌に加え、「ウォーターマークホテル長崎」(長崎のハウステンボス内で営業)、「グアムリーフホテル」(グアム島のタモン湾沿いで営業)を新規に連結対象としました。各ホテル共にお客様満足や収益性の向上に努めてまいります。



◀ウォーターマークホテル長崎

グアムリーフホテル ▼



Guam Reef Hotel  
On The Beach in The Heart of Guam



▲バス事業イメージ



◀バスツアーパンフレット

## 九州産交グループ

### 新たなグループ

平成24年7月、国内旅行の強化や訪日旅行の促進を目的に九州産業交通ホールディングス株式会社(熊本県)を子会社化しました。九州産業交通ホールディングス株式会社は、バス事業(路線バス・高速バス・貸切バス)、旅行事業、ランドマーク事業、再開発事業などを手掛けております。今後はシナジーを発揮できるようグループ間で様々な取り組みを進めてまいります。

(平成24年10月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	34,261,468 株
株主数	8,707 名

### 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	9,596	29.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,436	7.51
シービーニューヨーク オービスエスアイシーアーヴィー 有限会社 秀インター	2,192	6.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,366	4.21
澤田 まゆみ	690	2.12
ザ チェース マンハッタン バンク エヌイー ロンドン エスイーシーエス レンディング オムコバス アカウト	658	2.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	566	1.74
エイチ・アイ・エス従業員持株会	526	1.62
行方 一正	510	1.57

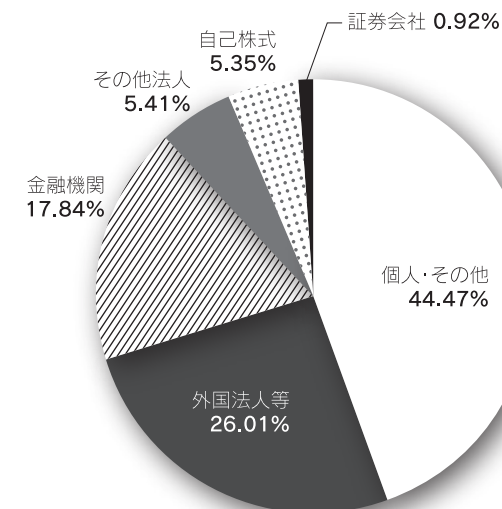
(注)当社は自己株式(1,834,658株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	68億82百万円
従業員数	8,310名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 268店舗/海外 38ヶ国 89都市 123拠点
ホームページ	<a href="http://www.his-j.com">http://www.his-j.com</a>

### 株式分布状況

#### 所有者別株式分布状況



### 会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
常務取締役	楠原 成基
常務取締役	高木 潔
取締役	和田 光
取締役	中森 達也
取締役	中谷 茂
取締役	ハック アザドウル
取締役相談役	行方 一正
取締役	平田 雅彦
常勤監査役	三上 幹夫
監査役	梅田 常和
監査役	山本 克

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。